資料 1

○ソフト対策の取組状況〔平成28年度実績〕

項目	事項	分類		具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
①住民が自ら安全に避難するための取り組み 【逃げ遅れない】											
	■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項										
		防災訓練	1	〈米代川流域内合同危機管理演習〉 ・**大規模洪水を想定し**、関係機関の**防災システムやタイムライン**を活用した、実践的な訓練の実施	●	●	●	●	●	●	●
				〈防災訓練〉 ・**大規模水害を想定した**住民参加による防災訓練の実施	●	●	●	▲	●	▲	●
		リスク情報周知	2	・**想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表**	－	－	－	－	■	－	●
				・**想定最大規模の洪水**での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	●	■	■	■	▲	－	▲
		防災教育・広報	3	・**教育機関等と連携**し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施（**近年の災害を意識した講座**）	●	●	●	●	●	●	●
				・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での**広報・啓発活動の強化**	●	●	●	●	▲	●	●
		土地利用対応	4	・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を継続	●	●	●	▲	－	－	－
	■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項										
		防災計画	5	・**住民目線**のタイムラインの作成と改善（市独自を含む）	■	■	■	●	－	▲	▲
		情報提供	6	・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、 **緊急速報メール** 防災ラジオ　　など	●	●	●	●	●	▲	●
				・洪水時の**情報を入手しやすく**する。 気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善	－	－	－	－	－	●	－
②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化 【備える】											
	■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項										
		水防体制	7	・水防団等との重要水防箇所の巡視（市独自を含む）	●	●	●	●	●	－	●
				・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	●	●	●	●	●	▲	●
				・**要配慮者利用施設等の防災体制の確保・強化への支援** ・防災訓練への支援 ・自衛水防組織化の推進	●	●	●	▲	●	●	●
			8	・水防資機材の保有状況の確認、**情報共有** ・**確実な水防資機材の補充**	●	●	●	●	●	－	●
③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み 【早期の回復】											
	■排水訓練、地域連携に関する事項										
		排水施設	9	・排水訓練の実施に合わせた、**地域住民への周知**活動の実施	－	－	－	－	－	－	▲
		自治体間連携	10	・**自治体間相互連携(流域共助)の強化**（受け入れ体制強化）	●	●	●	●	●	－	－

●：実施済　　■：検討　　▲：実施なし

－：対象なし　　：支援

平成28年度 取組実績 ［防災訓練］

［北秋田市］

「県民防災の日」訓練　鷹巣地区

○日時・会場：平成28年5月26日（木）　北秋田市民ふれあいプラザコムコム
○実施、参加機関・団体
　北秋田市・市教育委員会・北秋田市消防本部、消防団鷹巣第1分団・花園町自治会
○訓練参加人数：70人

【訓練想定】
平成28年5月26日9時10分、秋田県内陸北部を震源とする震度6強の直下型地震が発生し北秋田市全域に被害が発生した。この地震による鷹巣地区の被害は特に大きく、多くの人手で賑わっていた北秋田市民ふれあいプラザでは、多数の負傷者が発生した。地震発生と同時に災害対策本部を設置し、被害の情報収集及び避難所の開設にあたる。

［能代市］　河川の出水時の地震による破堤を想定した総合防災訓練
開催日：5月26日
参加者：約650名

［大館市］　河川の増水、地震を想定した総合防災訓練
開催日：8月28日
参加者：約570名

［東北地整］　災害対策車両・過去の災害パネルの展示（支援）
5月26日能代市総合防災訓練へ

平成28年度 取組実績 [防災教育・広報]

[能代市] 学校・自治会等における出前講座

学校や自治会等を訪問し「出前講座」を開催した。地域の災害危険箇所や避難行動についての説明、土のうの積み方、「防災まちあるき」等を実施した。
またイベント（のしろ産業フェア、きみまちの里フェスティバル、健康展）において防災に関する展示を行った。

防災まちあるき
（淳城西小学校防災クラブ）

防災展
（のしろ産業フェア）

土のうの積み方・運搬訓練
（大瀬南団地自治会）

避難行動要支援者の避難訓練
（二ツ井2区町内会）

[北秋田市] 自主防災組織・自治会・教育機関に向けた防災教育、啓発活動

開催日：6月12日
米代川の洪水を想定した住民避難訓練、講習
参加者：75名（舟見町自主防災会）

開催日：10月28日
地区住民、阿仁中学校生徒による避難、誘導、避難場所開設、防災資機材確認
参加者：85名（阿仁中学校、住民）

開催日：6月26日
災害発生時における情報収集、避難誘導、救出救護に関する研修会
参加者：40名
（糠沢自主防災会）

[大館市]

教育機関と連携した取組
～防災キャンプ～

小学校と連携した防災キャンプに参画し防災意識の高揚を図る
5月25日　西館小学校　約30人
7月8日　　城西小学校　約100人
7月16日　東館小学校　約100人
8月27日　花岡小学校　約100人
防災講話と避難所開設運営を指導

＜事業内容について＞

1．事業名

大館市防災キャンプ推進事業

（区分）

① 地域の自然環境や教育資源を活用した事業
② 都市と農山漁村の教育交流事業
③ 学校・地域を避難所と想定した防災キャンプ

2．事業の趣旨

大災害が発生したときに、自分の身は自分で守る、共に助け合うことを学び、必要な技術や知識を習得する。
市の教育の根幹に据えている「おおだてふるさとキャリア教育」の一環としても、地域の方々との触れ合いの中で、地域で『生きる』ことを学び、地域の一員としての自覚をもつようにする。
避難所体験を地域全体で取り組むことをとおし、地域住民の絆を深め、防災意識の高揚を図る。

3．事業内容

（1）地域プラットフォームの構成

＜構成メンバー一覧＞（敬称略）
①東館小地域プラットフォーム
●東館小学校ＰＴＡ会長
●東館小学校後援会会長
●東館小学校校長
○東館まちづくり協議会会長

[秋田県]

自主防災組織結成の支援
～アドバイザー派遣～

町内会等へ「自主防災アドバイザーを派遣し、防災講座を実施。
大館市下川沿地区（平成28年7月2日）などで開催（管内では9回開催）

教育機関と連携した取組
～防災教室～

県教育委員会等との共催で、小・中学校等において、防災に関する講座、教室を実施（県内では12回開催）

北秋田市立大阿仁小学校（平成28年7月）

[気象庁]

教育機関と連携した取組
～防災に関するワークショップ～

5月19日、秋田県消防学校に於いて秋田県教育委員会主催「安全管理指導者研修会」で県内小学校安全担当教員162名を対象に「気象庁ワークショップ」（経験したことのない大雨、その時どうする？）を実施した。

[東北地整]

広報ーパネル展示

既存災害記録写真等に、H28年度の災害対応状況の写真を追加・更新して展示（事務所：常時）

〈H28･･･災害派遣〉
- 熊本地震(TEC-FORCE)
- 台風10号(リエゾン等)

防災教育ー防災講話

「現場見学」等、防災関係以外のｲﾍﾞﾝﾄで防災に関する講話を実施

〈体験型現場学習会：大館地区小中学生〉

〈職場体験：二ツ井中生〉

〈ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ：能代西高生〉

[鹿角市]

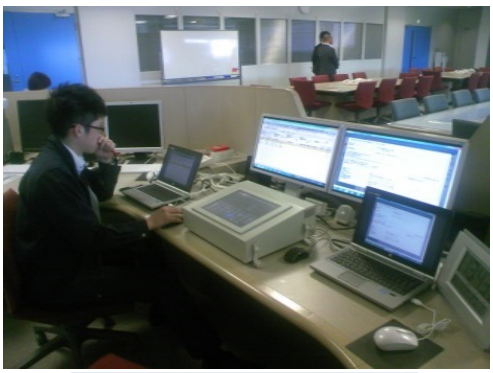
・7月に2団体（自治会）で防災に関する出前講座実施
参加者：43名

平成28年度 取組実績 ［情報提供］

［秋田県］

避難情報のリアルタイムな提供
～Lアラート訓練～

洪水等災害時の避難情報等が確実に伝達されるよう、市町村と共同でLアラートの入力訓練を実施している（避難情報はテレビのデータ放送でも配信される）。



平成28年5月17日
全国一斉訓練実施

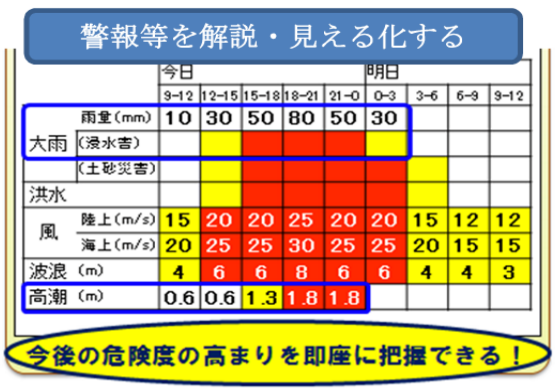
テレビデータ放送情報配信試験の状況

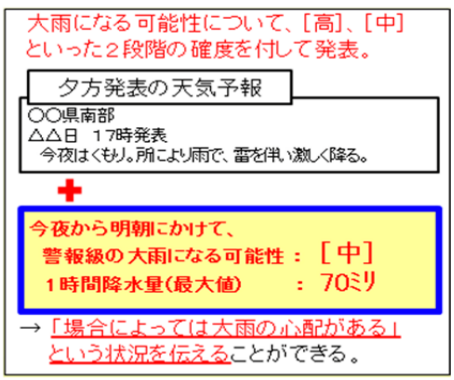
［気象庁］

気象情報の改善

・気象情報の発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善
(水害時の情報入手のしやすさをサポート)　防災機関へ試行として提供

・「定時の天気予報に合わせ警報の可能性」 防災機関へ試行として提供





気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善

［能代市］　防災無線、災害情報メールで防災情報を周知

［北秋田市］　防災ラジオによる情報提供に向け、調査設計を実施

［大館市］　緊急時情報一斉配信システムにより、防災情報を周知

［鹿角市］　防災ラジオ・防災メールを活用し、災害情報を周知

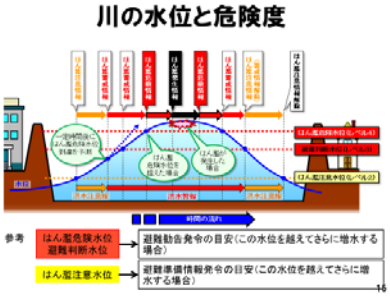
［東北地整］　第2回協議会で、ﾌﾟｯｼｭ型緊急速報ﾒｰﾙについて関係機関に周知

平成28年度 取組実績 ［水防体制］

［能代市］ 社会福祉施設を対象とした防災研修会

日時　平成28年10月18日
場所　能代山本広域交流センター
参加者　約70名（介護福祉施設、障害者福祉施設等の防災担当者等）

市防災危機管理室から、台風10号等の近年の災害傾向と避難の考え方について説明した後、市福祉課から、社会福祉施設等における災害対策等について説明した。



市内の主な河川の警戒水位

河川名	米代川		藤琴川	比井野川	常盤川	檜山川	悪土川
水位観測所	ニツ井	向能代	富根橋	比井野川	常盤	檜山	悪土川
はん濫危険水位	6.8m	3.4m	－	－	－	－	－
避難判断水位	6.3m	3.0m	－	－	－	－	－
はん濫注意水位	4.5m	1.9m	3.5m	1.36m	1.8m	1.5m	2.4m
水防団待機水位	3.0m	1.5m	3.0m	1.28m	1.3m	1.0m	2.0m

各河川の水位情報・雨量情報はインターネットでリアルタイムに入手可能
国土交通省「川の防災情報」 ※スマホ版もあり
http://www.river.go.jp/
秋田県河川砂防情報システム
http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/

16

［大館市］ 水防訓練の実施（県後援）

水防工法実施訓練により技術の向上と体制の強化を図る
日　時　　平成28年5月29日（日）
　　08:00～11:30
場　所　　外川原地区米代河川緑地
参　加　　約60名
実施工法　積土のう工法、木流工法、シート張り工法

平成２８年度　水防訓練要綱

1）目　　的　出水期にあたり、水防機関の士気の高揚と水防技術の向上、水防体制の強化を図ることを目的とする。
2）日　　時　平成２８年５月２９日（日）　８時３０分～１１時３０分（雨天決行）
　　８：３０　開会式
　　８：５０　訓練開始
　　１１：２０　閉会式
　　１１：３０　解散
3）場　　所　大館市外川原地内
　　外川原地区米代川河川緑地
4）主　　催　大館市
5）後　　援　北秋田地域振興局
6）参加機関
　　大館市危機管理課
　　大館市消防団
　　大館市消防本部（署）
7）訓練工法
　　１．積み土のう工
　　２．木流し工
　　３．シート張り工
8）参加人員　４５名
　　大館市消防団
　　第５方面隊　１５人（大館第13・14分団）
　　第10方面隊　１５人（比内第１・２分団）
　　第15方面隊　１５人（大館第25・26分団）
9）使用資器材及び器具
　　使用資器材及び器具等は主催者が用意する。
10）服装
・「消防団員服制準則」に定める服装とし、水防団ごとの統一を期すること。
・ヘル
・雨天

要配慮者施設等の避難訓練・体制強化

1月30日市内の6社会福祉法人と「避難所の開設運営に関する協定」を締結
　福祉避難所　3施設⇒16施設
2月9日要配慮者の避難訓練開催（図上）　7法人40名

[鹿角市]

自主防災会が参加した水防訓練

・平成28年5月29日、米代川久保田橋下流の河川敷において、関連団体から約150名の参加を得て、市、町の水防団が7つの班に分かれ、6つの水防工法による訓練を実施しました。

[秋田県]

要配慮者利用施設等の防災体制強化
～水害・土砂災害への備えに関する施設管理者向け説明会～

水害・土砂災害時に適切な避難行動が取られるよう施設の管理者に理解を深めていただくための説明会を国土交通省と共同で開催

・H29.2.27　北秋田市
　参加者83名
・H29.2.28　能代市
　参加者80名
・H29.3.14　鹿角市
　参加者55名

鹿角市会場

北秋田市会場

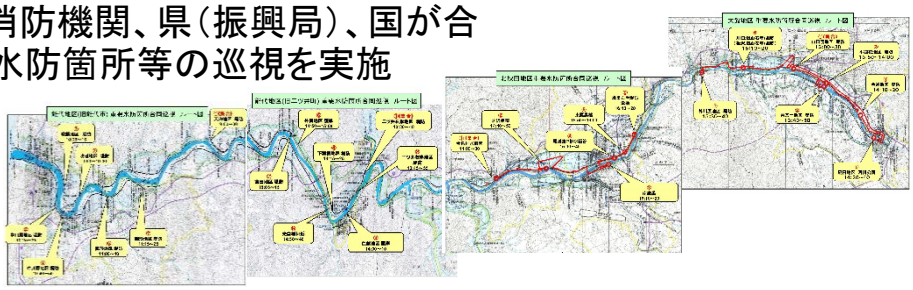
能代市会場

[東北地整]

重要水防箇所合同巡視

洪水時において迅速かつ的確な水防活動の実施により、災害の軽減を図るために、能代市・北秋田市・大館市の市長に参加いただき、市の消防機関、県（振興局）、国が合同で、重要水防箇所等の巡視を実施

・能代地区　－　6月29日
・北秋田地区　－　6月　6日
・大館地区　－　6月　1日



〈能代市〉

〈北秋田市〉

〈大館市〉

[北秋田市]

水防工法実施訓練

日時　平成28年6月5日
参加者　約150名（消防団員等）

[気象庁]

要配慮者利用施設担当者への説明会開催

○ソフト対策の取組計画〔平成29年度計画〕

項目	事項	分類		具体的取組	能代市	北秋田市	大館市	鹿角市	秋田県	気象庁	東北地整
①住民が自ら安全に避難するための取り組み 【逃げ遅れない】											
■リスク情報の周知や防災教育・訓練等に関する事項											
		防災訓練	1	〈米代川流域内合同危機管理演習〉 ・**大規模洪水を想定し**、関係機関の**防災システムやタイムライン**を活用した、実践的な訓練の実施	●	●	●	●	●	●	●
				〈防災訓練〉 ・**大規模水害を想定した**住民参加による防災訓練の実施	●	●○	○	▲	○	▲	●○
		リスク情報周知	2	・**想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表**	－	－	－	－	○	－	○
				・**想定最大規模の洪水**での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知	●	□	□	□	▲	－	○
		防災教育・広報	3	・**教育機関等と連携**し、小学校等への「出前講座」の拡充実施 ・「就業体験」や「現場見学」など、いろいろな機会を利用した防災講話等の実施（**近年の災害を意識した講座**）	○	○	○	○	○	○	●○
				・流域住民の防災意識向上を図るため、イベント等での**広報・啓発活動の強化**	○	○	○	○	▲	○	○
		土地利用対応	4	・水害常襲地区の利用・建築等への助言・指導を継続	●	●	●	▲	－	－	－
■発災時の迅速かつ確実な避難に関する事項											
		防災計画	5	・**住民目線**のタイムラインの作成と改善（市独自を含む）	□	□	□	□	－	▲	○
		情報提供	6	・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充 災害情報メール、 **緊急速報メール** 防災ラジオ　　など	○	○	○	○	○	○	●
				・洪水時の**情報を入手しやすく**する。 気象情報発信時の「危険度色分け」や「警報級の現象」等の改善	－	－	－	－	－	●○	－
②災害時に人命と財産を守る水防体制の強化 【備える】											
■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する事項											
		水防体制	7	・水防団等との重要水防箇所の巡視（市独自を含む）	●	●	●	○	●	－	●
				・水防団・自主防災組織などが参加した水防訓練の実施	●	●	●	●	●○	－	●○
				・**要配慮者利用施設等の防災体制の確保・強化への支援** ・防災訓練への支援 ・自衛水防組織化の推進	□	○	□	○	－	－	－
			8	・水防資機材の保有状況の確認、**情報共有** ・**確実な水防資機材の補充**	○	○	○	○	●	－	○
③一刻も早く日常生活を取り戻すための取り組み 【早期の回復】											
■排水訓練、地域連携に関する事項											
		排水施設	9	・排水訓練の実施に合わせた、**地域住民への周知**活動の実施	－	－	－	－	－	－	●
		自治体間連携	10	・**自治体間相互連携(流域共助)の強化**（受け入れ体制強化）	●	●	●○	●	●	－	－

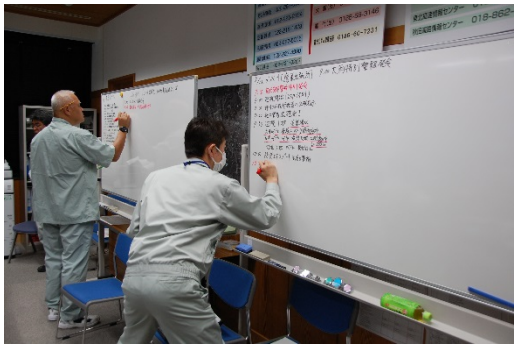
○:実施予定　　●:実施済
▲:実施予定なし　　□:検討予定
－:対象なし　　:支援

平成29年度 取組計画 ［防災訓練］

［東北地整］ほか各機関

情報伝達演習

日時・会場：平成29年5月12日 「洪水対応演習」で、協議会各機関参加により情報伝達を実施



地域住民参加による防災訓練

［能代市］ 5月26日：総合防災訓練実施

［北秋田市］ 8月27日：消防本部、市主催による総合防災訓練実施予定
浸水区域内の自治会等で避難訓練を実施予定

［秋田県］
［大館市］ 9月3日：河川の増水、地震を想定した秋田県総合防災訓練実施予定

［東北地整］ 災害対策車両・過去の災害パネルの展示（支援）

平成29年度 取組計画 [リスク情報周知]

[東北地整]

北秋田市「小猿部川」の想定最大規模降雨による浸水想定区域図、
家屋倒壊等氾濫想定区域を公表予定・・・（近日中）

平成29年度 取組計画 [防災教育・広報]

[東北地整]

森吉山ダムで防災講話

5月9日鷹巣中学校の現場見学会にて、10分
程度の防災講話を実施 ・・・1年生約100名

広報ーパネル展示

既存災害記録写真等に、H29年度の災害対応状況の写真を追加・更新して展示（事務所：常時）

↑ 事務所入口

↑ リエゾン派遣写真

[気象庁]

教育機関と連携した取組

秋田県教育委員会と調整して防災に関する出前講座実施予定

広報活動

夏休み前に「お天気フェア」開催予定

教育機関・自治会等と連携した取組「出前講座」

[能代市]

学校・自治会等へ出向いて防災講話や図上訓練を実施予定

[北秋田市]

学校・自治会等へ出向いて防災教育を実施予定

[大館市]

小中学校で実施する防災キャンプ等へ参画し、防災教育・避難所開設指導を実施予定

[鹿角市]

自治会等へ出向いて防災講話・訓練を実施予定

[秋田県]

地域住民・事業所・小中学校等を対象に防災講話・防災教室を実施予定

自治会等を対象とした自主防災組織の結成を支援するため、防災講座を実施予定

[東北地整]
[気象庁]

緊急速報メール運用開始

緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信

～平成２９年５月１日から、配信対象を国管理河川８水系で開始します～

国土交通省では、「水防災意識社会 再構築ビジョン」のもと、洪水時に住民の主体的な避難を促進するため、平成28年9月から、国が管理する2河川（鬼怒川、肱川）の沿川市町村（茨城県常総市、愛媛県大洲市）において緊急速報メールを活用した洪水情報※1のプッシュ型配信※2に取り組んでいます。
東北地方整備局では、平成29年5月1日から、自治体や携帯電話事業者との調整等が整った高瀬川、北上川、鳴瀬川、名取川、阿武隈川、**米代川**、**雄物川**、赤川水系の8水系で開始します。
配信対象は、今後も順次拡大していきます。

※１　「洪水情報」とは、洪水予報指定河川の氾濫危険情報（レベル４）及び氾濫発生情報（レベル５）の発表を契機として、住民の主体的な避難を促進するために配信する情報です。
※２　「プッシュ型配信」とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

洪水情報のプッシュ型配信イメージ

※今回のメール配信は、携帯電話事業者が提供する「緊急速報メール」のサービスを活用して洪水情報を携帯電話ユーザーへ周知するものであり、洪水時に住民の主体的な避難を促進する取組みとして国土交通省が実施するものです。

配信内容①

1　開始日
平成２９年５月１日（月）

2　配信対象（東北地整管内）
国管理河川８水系５１市町村。秋田県内は米代川水系３市、雄物川水系６市町。（詳細は別表）

3　配信対象者
配信対象内の携帯電話等（NTTドコモ、KDDI・沖縄セルラー、ソフトバンク（ワイモバイル含む））のユーザーを対象

4　配信する情報
配信対象河川において、「河川氾濫のおそれがある（氾濫危険水位に到達した）情報」及び「河川氾濫が発生した情報」を配信

段階	配信する情報	配信契機
①	河川氾濫のおそれがある情報	配信対象河川の基準観測所の水位が氾濫危険水位に到達し、氾濫危険情報が発表された時
②-Ⅰ	河川氾濫が発生した情報（※河川の水が堤防を越えて流れ出ている情報）	配信対象河川の基準観測所の受持区間で河川の水が堤防を越えて流れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時
②-Ⅱ	河川氾濫が発生した情報（※堤防が壊れ河川の水が大量に溢れ出している情報）	配信対象河川の基準観測所の受持区間で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出る事象が発生し、氾濫発生情報が発表された時

配信内容②

5　配信文案

洪水情報のプッシュ型配信では、以下文案例のように緊急速報メールが住民に配信されます。

○配信文案例

①河川氾濫のおそれ	②-ⅰ　河川氾濫発生 （河川の水が堤防を越えて流れ出ている時）	②-ⅱ　河川氾濫発生 （堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出している時）
【見本】 （件名） 河川氾濫のおそれ （本文） ○○川の○○（○○市○○）付近で水位が上昇し、避難勧告等の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。堤防が壊れるなどにより浸水のおそれがあります。 テレビ、ラジオ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。 本通知は、東北地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。 （国土交通省）	【見本】 （件名） 河川氾濫発生 （本文） ○○川の○○市○○地先（左岸、東側）付近で河川の水が堤防を越えて流れ出ています。 テレビ、ラジオ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。 本通知は、東北地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。 （国土交通省）	【見本】 （件名） 河川氾濫発生 （本文） ○○川の○○市○○地先（左岸、東側）付近で堤防が壊れ、河川の水が大量に溢れ出しています。防災無線、テレビ等で自治体の情報を確認し、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとってください。 本通知は、東北地方整備局より浸水のおそれのある市町村に配信しており、対象地域周辺においても受信する場合があります。 （国土交通省）

[気象庁]

気象情報の改善

↓5月17日から提供開始

気象警報・注意報の新たな表示（危険度を色分けした時系列）

平成２８年　８月３０日５時１９分　盛岡地方気象台発表

岩手県の注意警戒事項
沿岸北部、沿岸南部では、３０日朝から３１日明け方まで土砂災害に、３０日昼前から３０日夜のはじめ頃まで暴風に、３１日明け方まで高波に警戒してください。

岩泉町　［発表］大雨（土砂災害），暴風警報
［継続］波浪警報　雷，洪水，　高潮，　濃霧注意報
３０日昼過ぎまでに洪水警報に切り替える可能性が高い
３０日昼過ぎまでに高潮警報に切り替える可能性が高い

岩泉町			今後の推移（■警報級　□注意報級）									備考・関連する現象
発表中の警報・注意報等の種別			30日							31日		
			3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6	
大雨	1時間最大雨量（ミリ）		16	30	40	50	80	80				
大雨	（浸水害）											浸水注意
大雨	（土砂災害）											土砂災害警戒
洪水	（洪水害）											
暴風	風向風速（矢印・メートル）	陸上	3	10	15	20	25	20	13	10	10	
暴風	風向風速（矢印・メートル）	海上	10	12	20	25	35	30	15	10	10	以後も注意報級
波浪	波高（メートル）		6	6	8	8	10	10	10	6	6	以後も注意報級 うねり
高潮	潮位（メートル）		0.4	−0.2	0.1	1.2	1.2	1.2	0.7	0.7		ピークは30日12時頃
雷												竜巻、ひょう
濃霧	陸上											視程100メートル以下 以後も注意報級
濃霧	海上											視程500メートル以下 以後も注意報級

警報は、警報級の現象が予想される時間帯の最大6時間前に発表します。
▨で着色した種別は、今後警報に切り替える可能性が高い注意報を表しています。
各要素の予測値は、確度が一定に達したものを表示しています。

※　従来の文章形式による表示も継続。

[気象庁]

気象情報の改善

↓5月17日から提供開始

5日先までの「警報級の可能性」

○○県南部の警報級の可能性
南部では、４日までの期間内に、暴風、波浪警報を発表する可能性が高い。
また、４日明け方までの期間内に、大雨警報を発表する可能性がある。

今日～明日
・天気予報と合わせて発表
・時間帯を区切って表示

明後日～5日先
・週間天気予報と合わせて発表
・日単位で表示

○○県南部	警報級の可能性								
種別	3日		4日			5日	6日	7日	8日
	明け方まで		朝～夜遅く						
	18-24	0-6	6-12	12-18	18-24				
大雨	中		―			―	―	中	―
暴風	―		高			―	中	高	―
波浪	―		高			―	中	高	―

[高]：警報発表中、又は、警報を発表するような現象発生の可能性が高い状況です。明日までの警報級の可能性が[高]とされているときは、危険度が高まる詳細な時間帯を本ページ上段の気象警報・注意報で確認してください。
[中]：[高]ほど可能性は高くありませんが、命に危険を及ぼすような警報級の現象となりうることを表しています。明日までの警報級の可能性は[中]とされているときは、深夜などの警報発表も想定して心構えを高めてください。

今日～明日
前日の夕方の段階で、必ずしも可能性は高くないものの、夜間～翌日早朝までの間に警報級の大雨となる可能性もあることが分かる！

明後日～5日先
数日先の荒天について可能性を把握することができる！

洪水警報を改善するための流域雨量指数の精緻化
洪水警報の危険度分布の提供

危険度の高まりを伝える情報
- 洪水注意報
- 洪水警報
- 等

危険度の高まりを伝える

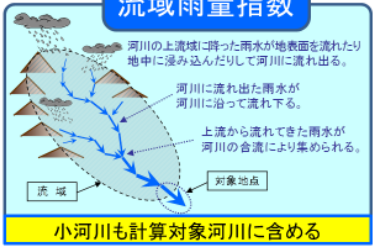
危険な地域を視覚的に確認

警報等を補足する情報

洪水警報等が発表された市町村内において、実際にどこで危険度が高まっているかを確認。

（平成29年度出水期）
発表基準に導入

精緻化した流域雨量指数



小河川も計算対象河川に含める

（平成29年度出水期）
基準判定結果を地図上に表示

↑7月上旬から提供開始

［秋田県］

避難情報のリアルタイムな提供
～Lアラート訓練～

秋田県防災ポータルサイトによる河川水位、避難情報等のリアルタイムな情報提供

市町村共同で「Lアラート」による避難勧告情報等の配信訓練実施予定

防災情報周知

［能代市］

防災無線、災害情報メールで防災情報を周知予定

［北秋田市］

防災ラジオによる情報提供に向け、設備設置工事及びラジオ配布を実施予定

［大館市］

緊急時情報一斉配信システムを従来のメールのほかに、電話・FAXでも発信できるよう機能強化・・・実施済

［鹿角市］

防災ラジオ・防災メールを活用し、災害情報を周知予定

平成29年度 取組計画 ［水防体制］

［能代市］ 6月4日水防訓練実施

［北秋田市］ 6月11日水防訓練実施

［大館市］ 5月28日水防訓練実施

［鹿角市］ 5月28日鹿角・小坂合同水防訓練実施

［秋田県］ 県内各市町村を対象に水防連絡会を開催予定
国が開催する重要水防合同巡視へ参加

［東北地整］

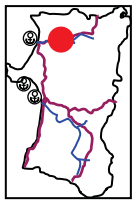
重要水防箇所合同点検実施（能代6/28、北秋田6/9、大館5/30）
北秋田市の水防訓練に照明車及びポンプ車を展示・実演を実施

米代川　河川改修事業（能代市二ツ井地区）

完成予定：H30			
継続	秋田県能代市	河川	直轄

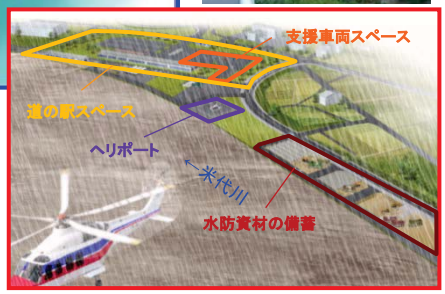
※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・米代川では、平成19年9月、平成25年8月と近年連続して洪水被害を受けており、大規模災害に対応するため、緊急用設備資材や水防活動拠点の確保が急務となっていることから、河川防災ステーションを整備します。
・平成29年度は、基盤造成及び備蓄資材整備を実施します。



▲ 平常時における利用イメージ

▼ 平成19年9月洪水時の状況



▶ 災害時における活動イメージ

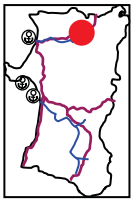
【整備効果】
災害時の水防活動拠点となるほか、高規格道路幹線道路を活用した秋田県北地域の広域的・総合的な防災拠点として活用できます。また、「道の駅」との一体整備により平常時には交流拠点としも期待されます。

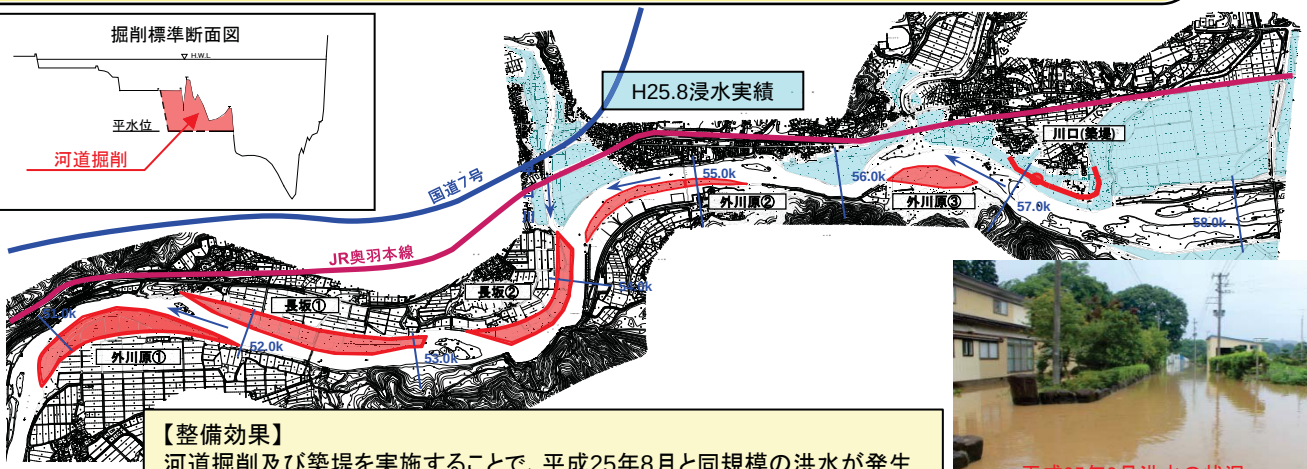
米代川　河川改修事業（大館市川口・外川原・長坂地区ほか）

完成予定：H30年代			
継続	秋田県北秋田市～大館市	河川	直轄

※上記の事業費は、当該河川全体の事業費（工事諸費を除く）を記載

【事業の概要】
・米代川では、平成25年8月洪水により家屋等浸水被害が発生した箇所に対して、平成27年9月関東・東北豪雨を受け、策定した「水防災意識社会　再構築ビジョン」の取組の一環として、緊急的に河道掘削及び築堤を実施するものです。
・平成29年度は、河道掘削及び用地取得を実施します。





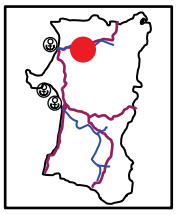
【整備効果】
河道掘削及び築堤を実施することで、平成25年8月と同規模の洪水が発生した場合でも家屋17戸の浸水被害が解消されます。

米代川　二ツ井きみまち地区かわまちづくり

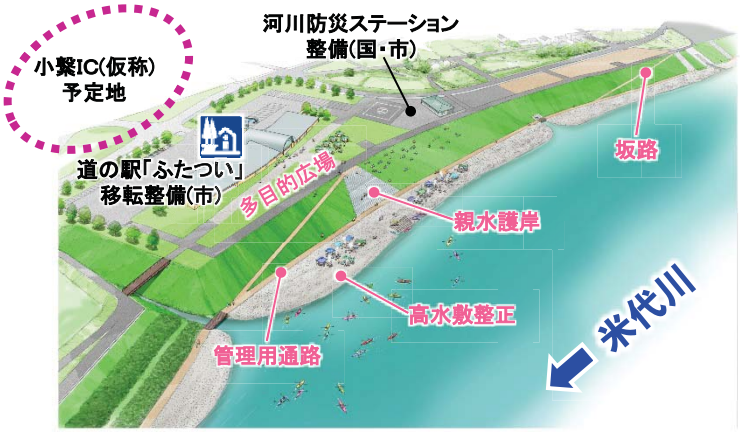
完成予定：H36

新規	秋田県能代市	河川	直轄

【事業の概要】
・二ツ井地区は古くから舟運の要所として栄え、七座山や米代川の優れた自然景観を有しています。道の駅の移転や河川防災ステーション整備と一体となった水辺空間を創出するため、親水護岸や管理用通路等の整備を実施します。



【整備効果】
・「道の駅ふたつい」の移転整備や隣接する米代川の「河川防災ステーション」の整備と一体となった水辺空間の整備を進めることにより、観光・防災・地域振興が連携した新たな交流拠点としての活用が期待されます。



▲水辺空間の整備イメージ

▲河川の利用状況（カヌーイベント）

【平成29年度の事業内容】
・親水護岸、高水敷整正等を実施します。